

テニス専門部

専門部長 掛園 真樹
専門委員長 小林 正雄

本年度の行事も無事終了できましたことは、県高体連事務局・専門部各委員並びに各学校顧問の先生方のご協力のお陰であり、深く感謝申し上げます。さらに佐賀県テニス協会の方々のご尽力により、テニスの選手強化・指導者講習会・普及活動等の機会を設けていただき、心よりお礼申し上げます。

この1年間のテニス専門部の活動のうち新人大会(平成28年度)及び県高校総体の概要は次のとおりでした。

◎県高校新人大会(参加校・参加人数)

団体	男子25校	女子17校
個人戦	男子シングルス	121名
	ダブルス	85組
	女子シングルス	103名
	ダブルス	64組

◎県高校総体(参加校・参加人数)

団体	男子28校	女子21校
個人戦	男子シングルス	128名
	ダブルス	88組
	女子シングルス	109名
	ダブルス	75組

☆前年度の新人大会では、男子団体戦は、第2シードの武雄高校が準決勝・決勝で接戦を制し、初優勝を果たした。一方、第3シードの致遠館高校が第2代表決定戦で競り勝ち、9年連続の九州大会出場を決めた。第3位には佐賀西高校、鳥栖高校が入賞した。

女子団体戦では、第3シードの鳥栖商業高校が準決勝・決勝での接戦を制し18年ぶり2回目の団体優勝を果たした。第2位には、第1シードの致遠館高校が順当に勝ち上がり3年ぶりの九州大会出場を決めた。第3位には佐賀商業高校、佐賀西高校が入賞した。

個人戦男子は、シングルスでは、第1シードの宮原颯大(佐西)が実力を発揮し、優勝を果たした。第2位には、岡村宙海(致遠)、第3位には神崎直紀(致遠)、副島大誠(武雄)が入賞した。ダブルスでは、第1シードの神崎・岡村組(致遠)が準決勝・決勝で

の接戦を制し、優勝した。第2位には吉村・中島組(武雄)、第3位には宮原・島川組(佐西)、松尾・中原組(清明)が入賞した。

個人戦女子は、シングルスでは、第2シードの友枝愛(早佐)が決勝での接戦を制し、優勝を果たした。2位は原口紗綺(致遠)、第3位には古賀里奈(致遠)、松尾希美(佐商)が入賞した。ダブルスでは、第2シードの百武・松尾組(佐商)が準決勝・決勝での接戦を制し、優勝を果たした。2位には中村・原口組(致遠)、3位には川島・大場組(鳥商)、石丸・岸川組(佐商)が入賞した。

☆本年度の高校総体は男子団体戦では、ノーシードの早稲田佐賀高校が、勝ち上がるごとに力をつけ次々とシード校を倒し初優勝を果たした。一方準優勝は、第1シードの武雄高校が準決勝での接戦を制し、九州大会出場を決めた。第3位には致遠館高校、鳥栖高校が入賞した。

女子団体戦では、第1シードの致遠館高校が、全試合で1ポイントも落とさず、圧倒的な強さを発揮し、3年ぶりの優勝を果たした。一方準優勝は、第3シードの佐賀商業高校が準決勝で鳥栖商業高校を振り切り、九州大会出場を決めた。第3位には鳥栖商業高校・早稲田佐賀高校が入賞した。

個人戦男子は、シングルスでは、第1シードの宮原颯大(佐西)が圧倒的な強さを発揮し、優勝を果たした。第2位は中島琉(武雄)が、第3位には半藤伯馬(早佐)、波多江祐直(唐南)が入賞した。ダブルスでは、第1シードの中島・吉村組(武雄)が決勝での接戦を制し、優勝を果たした。第2位には岡村・香月組(致遠)が、第3位には萩原・山本組(佐西)、宮原・島川組(佐西)が入賞した。

個人戦女子は、シングルスでは、第1シードの古賀里奈(致遠)が順当に勝ち上がりし、優勝した。第2位には川島葉月(鳥商)が、第3位には友枝愛(早佐)、松尾希美(佐商)が入賞した。ダブルス決勝は、同校対決となり、第2シードの中村・原口(致遠)が確実な試合展開で、優勝をおさめた。第2位には古賀・糸山組(致遠)が、第3位には川島・宮尾組(鳥商)、百武・松尾(佐商)が入賞した。